

令和5年度 第57回 中学生の「税についての作文」

町田税務署長賞

『税金を知る』

町田市立忠生中学校 3学年 加藤 菜花

税金は、私達にとって必要不可欠な存在だ。教科書や学校の机、道路や信号など安心・安全に暮らしていくために税金という存在はとても大切だ。しかし、そんな私達の生活を支える税金に対して私達は興味や関心が低いと思う。それは、税金が何に使われて、どんな風に役立っているのかを詳しく知らないからなのではないだろうか。

私は、最近テレビで地震や大雨などのニュースをよく耳にする。特に、七月九州で起こった大雨によって土砂崩れや、家屋の浸水、倒壊した事が印象に残っている。家が壊れたりしてしまった時には、もちろん直す必要がある。そんな時は、「基礎支援金」などと呼ばれる支援金を貰う事ができるそうだ。その財源は、税金である。例えば、災害によって家が全壊してしまった時には百万円、半壊の場合では五十万円と、それぞれの被害の状況に合った、支援金を貰う事ができるそうだ。

災害と税について調べていた時、ある記事が目にとまった。「復興特別所得税」というタイトルの記事で聞いた事がない税金だったので、調べてみると、東日本大震災の復興のための税金だそうだ。東日本大震災によって今もなお被害が残っている地域があるのだ。その一例として福島原発事故がある。

東日本大震災によって津波が発生し、津波によって冷やす機能を失った結果、爆発に至った事故が福島第一原発だ。この事故から十年程たった現在も、原発周辺はほぼ当時のままで、事故処理が進んでいなかった。そんな地域のために復興特別所得税が二〇十一年から始まった。そのおかげで、四千億円程集めることができたそうだ。復興特別所得税を納める事によって、少しでも誰かの役に立って復興が進んでいくのだ。

私はこの作文をきっかけに、「税金」という存在に凄く興味を持った。今回、私が主に調べた災害と税は深く結びついていると思う。税に対してマイナスなイメージを持つ人も多いだろう。しかし、災害により今も支援や、復興を求めている人・地域があるのだ。私達は災害と常にとり合わせだ。いつ自分が被害者になるかは分からない。そんな時、私達を助けてくれるのは「税金」なのだ。災害だけでなく、警察や消防士、学校にある道具などにも税金が関わっている。私達は、もっと税金に対して関心を持って何に使われているのかを知ることが大切だと思う。税金によって支えられて生きているという事を忘れてはいけないのである。